

# 通学路危険箇所マップ

※円内は中学校から半径 1 km

## =校区内の交通環境の特徴=

### ○幹線道路（国道 269 号線）

都城～鹿屋を結ぶ幹線道路であり、特に朝夕の通勤時間帯に**交通量が増加**する。

### ○高速道路 I C

学校の北西部に位置し、一般道に降りたドライバーは、高速道路のスピード感覚であるため**速度超過**となりやすい。

### ○信号機のない横断歩道

幹線道路から入ると**信号機の設置数は少なくなる**。

### ○国道から伸びる直線道路

カーブ状の道路は少ないが**直線道路が多く、自動車のスピードが速くなりやすい**。

### ○大型車両

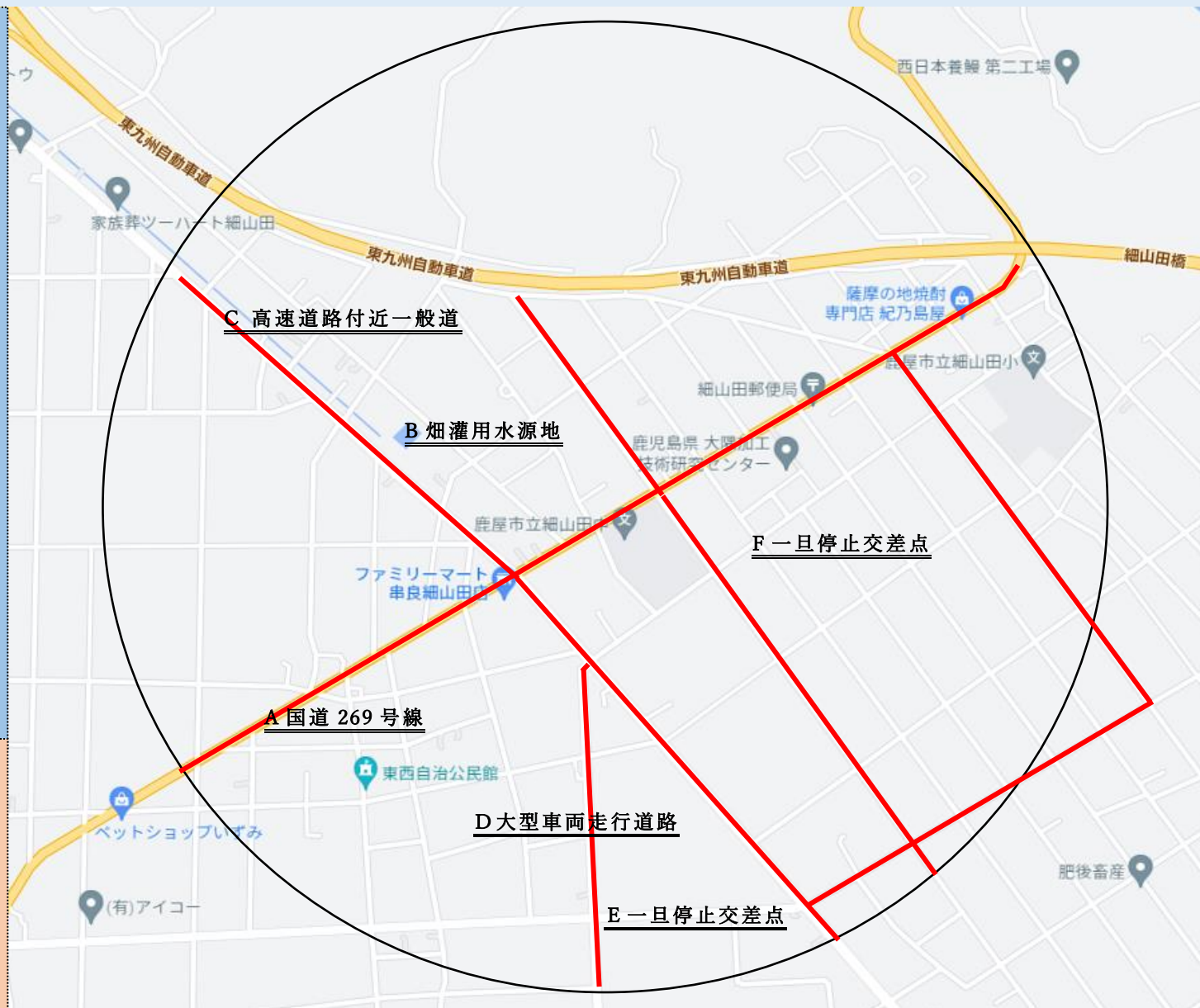
農業用や畜産飼料搬送の**大型車両**の交通量が多い。

### ○田畑に囲まれた道路

国道から筋道に入ると外灯の設置数が少なく、下校時間は**暗くなり危険**である。

## 自分の身は自分で守る!!

- 自宅から直近の通学路（赤い太線）を**安全に登下校**する。
- 交差点では
  - ・ **歩行者は立ち止まって左右の安全を確認**する。
  - ・ **自転車は一旦停止し、左右の安全を確認**する。





# 校区内の主な危険箇所

細山田中学校

## A 国道 269 号線



学校側に歩道があるので**安全な歩道を通行**する。  
正門から先は自転車を降り、手押しで自転車小屋へ。



細山田交差点は交通量も多いので、**青信号であっても左右の安全を確認**して横断する。



直線で自動車のスピードも出やすい道路である。**絶対に飛び出しはしない**こと。

## B 畑灌用水源地



水源は深く、落ちてしまうと大変危険であるため、**立ち入り禁止**の看板や有刺鉄線が設置されている。

## C 高速道路付近一般道路



高速道路を降りた運転手は、一般道でのスピード感覚が戻っていないため、**速度超過**になりやすい。

## D 大型車両走行道路



農業用や畜産飼料搬送の大型車両の交通量が多い。**車道を通行し、飛び出しは絶対にしない**こと。

## E 一旦停止交差点



十字路になっており、左右の見通しがとても悪いため、**一時停止して安全を確認**してから通行すること。



赤の点滅信号は「一旦停止」を意味する。**自転車**は自動車と同じ「車両」であり、**一旦停止する義務**がある。

## F 一旦停止交差点



一旦停止の標識や停止線が見にくく、緩やかな登り坂になっている。**坂の前で一旦停止**すると安全である。